

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
東京都品川区
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
関西大学生
【活動時期】
R5.11～R8.11

協力隊に応募したきっかけ

大学で、地域コミュニティの場である銭湯の持続可能性に関する研究をしていて、大野市の亀山湯で、まき割りや湯たきなど「弟子入り」と呼んでいる就業体験を行い、番頭のおんちゃんと一緒に汗を流した経験がありました。大学卒業後は、都心の大学院への進学や設計事務所への就職を考えていましたが、大野市に関わり続けたいとも思っていました。そんな時に、大野市が「関係人口創出コーディネート」として地域おこし協力隊を募集していることを知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

インターン企画について、今後は、夏・冬の定期開催に加え、地域の暮らしや課題に学生が主体的に関わる学びの場として、プログラムの質をさらに高めていきます。受入事業者の拡充や大学との連携強化を進め、地域との持続的な関係性を築くとともに、自走可能な運営体制の構築を目指します。都市部の学生が一つの地域に関わりつづけるという、地方と都市をつなぐ実践的なモデルとして成長させていきたいです。

活動内容

●都市部の大学生を対象にしたインターン企画の実施

冬の大野市には、雪かきなど、豪雪地帯ならではの生活習慣があります。地域で働きながら、まちづくりの現場や雪国の冬の暮らしを体験してもらうインターン企画を実施し、関東、関西から6名の大学生を受け入れました。一部の学生は、インターン後も大野市を訪問してくれています。



●銭湯を生かした関係人口の創出

県外、市外から大野市に関わり続ける人を増やすために、既存施設の活用や若者によるまちづくり活動の支援も行っています。市内の銭湯「亀山湯」を「まちをわかす拠点」として活用するために、付近の亀のつく飲食店とのコラボや、新たに休憩所を設置する社会実験も行いました。



●特技を生かして地域のお祭りに出店

大学時代のアルバイトでスパイスカレーの魅力にはまり、オリジナルカレーが作れるようになりました。最近では、スパイス好きな住民の方々と共に「奥越スパイス研究会」を立ち上げ、地域のイベントなどで、オリジナルカレーを提供しています。今後も、地域を盛り上げるため、少しずつ出店する機会を増やしていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) takeshi3kawa01@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram: <https://www.instagram.com/onoyokomachistudio/reels/>
(所属する団体「横町編集部」で地元の情報を発信しています)